

令和 6 年度 事業報告

○教職員の構成とクラス編成

(定員 380 名、13 クラス)

園長 1 名、副園長 1 名、事務 1 名

学年	クラス人数	クラス数	計人数	担任	副担任
満 3 歳児	10	1	19	2	2
	9	1			
3 歳児	16	1	32	2	2
	16	1			
4 歳児	17	1	52	3	1
	17	1			
	18	1			
5 歳児	17	1	51	3	
	17	1			
	17	1			
計	154	10	154	10	5

担任 10 名、副担任 5 名、ホームクラス担任 2 名、

(育休 1 名は年間全部)

英語講師 2 名、体育講師 1 名、音楽講師 1 名、絵画講師 1 名

○スクールバス

全 6 台、送迎各 2 コース、計 12 コース

運転手 6 名、添乗員 6 名、計 12 名

○運営計画

- ・ 教職員の質の向上は幼稚園での最重要課題であり、資質向上に取り組んだ。
- ・ 支援が必要な子どもが増加する中、園児一人ひとりに対する細やかな保育を実施するため、少人数クラスに加え補助教員を充実させた手厚い教員体制で保育を推進した。
- ・ こどもの人権を尊重した適切な保育を行うため、全員で研修受講しチェックシートなどで再確認した。普通救命講習Ⅲの講習会開催、アナフィラシー講習への参加など、安全な幼稚園運営を推進した。
- ・ 学芸会では劇を復活。和舞・バレエの先生から教員が個別指導を受けて、子どもへの踊りの指導力を高めた。また、子どもたちの音楽に対する興味を高めるため、音楽講師を中心に活動している音楽グループ

による演奏会を開催した。

- ・ 子ども一人ひとりの性格・能力を把握し、ご挨拶や先生の話の良い姿勢で聞ける態度、ものごとに自分からかかわろうとする意欲を育て、ひらがなと数字の理解等、小学校に入って困らない非認知および認知能力を身に付けられるように幼稚園教育を実施した。また、小学校 1 年生の授業参観及び一緒に遊ぶという、小学校と年長組の連携を実施した。
- ・ 新型コロナウイルスは 5 類に移行して 2 年目となり大量発生はなかったが、一方で他の感染症が拡大する中、適切な感染対策と教育機会確保の両立を図った。その結果、休園はなく、インフルエンザによる 1 学年延べ 2 日の学年閉鎖、3 クラス延 6 日間のクラス閉鎖におさまった。
- ・ ピアノ 14 台(各教室のアップライトピアノとプレイルームのグランドピアノ)の調律を実施した。一方で、使用見込みのないグランドピアノ 1 台は売却準備を進めた。
- ・ 熱中症対策のため、エアコン 2 台を大型機に入れ替えし、全エアコンの業者清掃を実施した。また、害虫・害獣駆除を年 2 回実施した。
- ・ 遊具の年 2 回の安全点検を実施し、吊り橋と築山(にこにこ山)を一部補修。木製遊具は年 2 回の水性ペンキ塗りを行い、靴箱のペンキ塗り替えも行った。
- ・ 新館の壁の塗り替え、ログハウスの屋根・壁の補修について、業者と打ち合わせし、令和 7 年度の夏実施に向け準備を進めた。
- ・ 少子化による園児数減少、物価高騰に加え、大阪府私立幼稚園経常費補助金の圧縮率拡大により経営収支は悪化した。大阪府私立幼稚園経常費補助金は圧縮率が毎年拡大しており、令和 6 年度はついに 80% を切る 78.9%となり、100%に対して約 12 百万円の減額となった。かかる環境下、幼児教育の質を低下させない前提で経常収支改善を検討した。私学助成園から施設給付型の新制度園に移行することとし、バスルートを見直して、令和 7 年度には現在より 1 台減の 5 台での運営に移行することとした。

学校法人 香梅幼稚園